

北支那開發株式會社法中改正法律案特別委員會議事速記第二號

昭和十七年一月二十三日(金曜日)午前十時七分開會

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 昨日ノ委員會ニ引續キマシテ本委員會ヲ開會致シマス、昨日政府委員ノ御説明ガ大體ゴザイマシタ、

五件ゴザイマスノデ、北支開發ノ方カラ順次ニヤツテ行キタイト思ヒマス、最初ニ只今興亞院長官心得ノ及川サンガ御見エニナツ

テ居リマセヌガ、追ッテ御見エニナルト思ヒマス、外ノ政府委員ノ方ガ御見エニナツテ居リマスカラ、北支那開發ノ分カラ、此ノ條文ニ付キマシテ全般ニ互ツテ、順次御質問願ヒタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 北支那開發株式會社ノ資本金ハ三億五千萬圓デアリマスカ

○政府委員(久保文藏君) 左様デゴザイマス

○橋本辰二郎君 現在政府ニ於キマシテ一億七千五百萬圓ヲ出資ヲ致シテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(久保文藏君) 現物デ大體一億五千萬圓程度出シテ居リマス

○橋本辰二郎君 サウスルト残りノ二千五百萬圓ハ金錢デ出資ヲ致シテ居リマスカ

○政府委員(久保文藏君) 左様デゴザイマス

○橋本辰二郎君 現物出資ノ主タル内譯ヲ承ルコトガ出來マセウカ

○政府委員(久保文藏君) 説明員ノ方カラ説明致サセマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) チョット皆

様ニ御諮リ致シマスガ、只今政府委員外ノ説明員カラ御説明ヲ申上ゲタイト云フ御希望ガゴザイマシタ、御許シ致シマシテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 長谷川説明員

○説明員(長谷川輝彦君) 是ハ鐵道用財産デゴザイマシテ、鐵道用ノ枕木デアルトカ、軌條デアルトカ、或ハ附屬設備、其ノ他ノモノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 鐵道ハ何處々ノ線デゴザイマスカ

○説明員(長谷川輝彦君) 北支那ニ於キマシテハ華北交通、中支那ニ於キマシテハ華中鐵道株式會社ガ現在受持シテ居ル線デゴザイマシテ、北支那ニ於キマシテハ隴海線

以北、中支那ニ於キマシテハ主トシテ揚子江ノ三角地帯ノ線デゴザイマス

○橋本辰二郎君 今ノ鐵道ノ起點、終點ヲ御説明ヲ願ヒマス

○説明員(長谷川輝彦君) 京山線ガ山海關カラ北京迄、京包線ガ北京カラ包頭迄、京漢線ガ北京カラ新郷迄、石太線ガ石門カラ太原迄、ソレカラ膠濟線ハ青島カラ濟南迄、津浦線ハ濟南カラ浦口迄デアリマスカ、只今ノ所ハ徐州トナツテ居リマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマスト、現在ノ北支ノ鐵道ヲ殆ト包含シテ居ルヤウデアリマシテ、ソレニシテハ金額ガ少イヤウニ考ヘマスカ、私ノチョット分ラヌヤウナ點

ガゴザイマス、ソレカラ此ノ鐵道ハ日本政府ガ出資ヲシテ居リマスル限リ、此ノ鐵道ノ所有權ハ日本鐵道ニ移ッタモノト見テ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(久保文藏君) 今回華北交通ノ方ニ政府ガ出資ヲ致シマスル大體ノ豫定金額ハ約八千八百萬圓デアリマシテ、今日迄ニ現物デ出シテ居リマスモノハ、大體三回ニ分チマシテ一億五千萬圓バカリ出テ居ル譯デゴザイマス、合セマシテ二億三千万圓バカリニナル譯デゴザイマス、只今長谷川説明員カラ御話申上ゲマシタ線ニ動イテ居リマス機關車或ハ車輛、其ノ他ノ建設資材ガ現物出資トシテ出テ居ル譯デアリマス、

部會社ニ所有權ヲ移サレテ居ッタカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、路線ノ所有權其ノモノニ付キマシテハ、必ズシモ會社ニ移轉サレテ居ル譯デゴザイマセヌノデ、大體ニ支那側ノ方カラ、其ノ經營ヲ此ノ會社ニ委託スルト云フ恰好デ參ッテ居ル譯デアリマス、從ヒマシテ會社ノ資産ノ評價ノ中ニハ、支那側ガ持ッテ居リマス路線其ノモノガ入ッテ居ナイト云フヤウナ建前ニナツテ居ルノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 其ノ點ハマア姑ク措キマシテ、今回此ノ改正案ヲ提出セラレマシタ理由ハ、増資ノ必要ガアルカラト思ヒマスカ、只今ノ八千八百萬圓バカリ差當リ増資ヲスル御希望ガアルヤウデアリマスカ、ソ

レハドシナモノデゴザイマスカ

○政府委員(久保文藏君) 八千八百萬圓ノ内容ハ、今日迄日本政府ノ方カラ、軍ノ軍事作戦上必要ト致シマスル關係カラ、機關車デアルトカ、或ハ貨車デアルトカ、或ハ路線建設ニ必要デアリマスル枕木其ノ他ノ資材ヲ供出致シマシテ運行ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、軍事行動ノ推移ト共ニ部分的ニ之ヲ經濟原則ノ運營ニ任セマシテ差支ナイ部分ガ段々ト出テ來ル譯ナンデゴザイマス、斯ウ云フモノヲ漸次政府出資ニ振替ヘマシテ、日本カラ供出致シマシタ車輛等ノ資材ノ經營合理化ヲ圖ッテ行キタイ、斯ウ云フ要求カラ出テ參ッテ居ル譯デゴザイマス、尙八千八百萬圓ヲ出スニ付キマシテ増資ヲ必要トスル理由ノ點デゴザイマスルガ、ソレハ御承知ノヤウニ、北支開發株式會社ノ法律ニ依リマスルト、其ノ第三條ト記憶致シマスルガ、政府ノ出資致シマスル金額ヲ一億七千五百萬圓ト限定サレテ居ル譯デゴザイマス、然ル處、其ノ中一億五千萬圓程度ノモノガ出サレテ居ルノデゴザイマシテ、此ノ現行法ノ建前カラ行キマスト、餘裕ガ二千萬圓程度シカゴザイマセヌ譯デゴザイマシテ、只今差向キ會社ノ方ニ現物出資致ス豫定デゴザイマスル八千八百萬圓ヲ出ス爲ニハ、ドウシテモ此ノ現行法ノ三條ヲ改正致シマセヌコトニハ、政府ハ現物出資ヲ致シ兼ネル譯ナンデゴザイマス、尙差向キ豫定致シテ居リマスル八千八百萬圓以外ニ、現ニ尙軍事行動上軍管理トナツテ居リ

マール路線、從テ又資材ガアル譯デゴザイマスルガ、是モ將來作戰ノ推移ニ從ヒマシテ漸次現物出資ニ振替テ行ク可能性ヲ持テ居ル譯ナンデゴザイマシテ、斯ウ云フモノヲ會社出資ニ振替ヘマスル爲ニモ、將來ノ措置ト致シマシテ、此ノ議會ニ於キマシテ現行法第三條ノ政府出資ノ限度ト云フモノヲ御外シ願ヘマスレバ、將來情勢ノ推移ニ伴ヒマシテ政府ノ現物出資ヲ致シ得ル可能性ガソコニ許サレルト云フコトニナル譯デゴザイマシテ、今回ノ改正案ヲ出シマシタ理由ノ一ツガ此處ニ在ル譯デゴザイマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御説明ニ依リマスルト、今後、軍ニ於テ今管理シテ居ルモノデ、漸次不用ニ歸スルモノモ段々出テ來ルト思ハレマスガ、ソレ等ノモノモ此ノ會社ニ出資ト云フコトニナラウト思ヒマス、サウ致シマス、政府ノ出資ハ相當増加スルモノト思ヒマスノデ、半額以上ト云フコトデアレバ幾ラニナツテモ宜イヤウニ思ヒマスガ、此ノ資本金ハ三億五千萬圓デ限定致シマシテ、是レ以上増加スルト云フコトハ爲サラスノデアリマスカ

○説明員(長谷川輝彦君) 現行法ノ第二條ニ依リマス、一應資本金ハ三億五千萬圓ニナツテ居リマスガ、但シ政府ノ認可ヲ得テ増加スルコトヲ得、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、現在半額以上ト云フコトニナツテ居リマスガ、政府ハ只今申シマシタヤウニ、約八千八百萬圓ノ現物出資ヲシナケレバナリマセヌ、其ノ外約一億圓位今度増資シヨウト思ヒマスノデ、ソレニ伴ヒマシテ、政府ノ出資金額モ一億圓ニ達スル豫定デアリマス

○橋本辰二郎君 此ノ資本金ノ増加ニ付キマシテハ、會社自身ノ總會ノ決議デ出來ルノデアリマスカ、又特ニ政府ノ認可ヲ要スルノデアリマスカ、又法律ニ依ルノデアリマスカ

○説明員(長谷川輝彦君) 現行法ノ第二條ニ但シ政府ノ認可ヲ受ケテ之ヲ増加スルコトヲ得、ト云フコトガ法律決テ居リマス

○橋本辰二郎君 分リマシタ、ソレカラ此ノ會社ハ是迄ハ主トシテ投資會社デアツテ、自分デ仕事ハシテ居ナカッタノヲ、今回之ヲ自營ノ出來ルヤウナ風ニ途ヲ御開キニナツタヤウニ思ハレマスガ、差當リ自營ヲシヨウト云フ專業ハドウ云フモノデアリマセウカト云フ專業ハドウ云フモノデアリマセウカ

○政府委員(久保文藏君) 北支開發株式會社ハ現行法ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ會社ハ中支振興ノ場合ト異リマシテ、自營業ヲ許サレテ居ナイノデアリマスガ、今回中支振興ノヤウニ、自營業モ爲シ得マスルヤウニ改正案ヲ提出致シマシタ理由ハ、御話ノヤウニ兩會社共ニ其ノ本體ハ飽ク迄モ投資融資ヲ本則トスル會社デゴザイマスガ、此ノ投資融資ヲ通ジマシテ、相當多數ノ子會社ヲ構成シテ參ルノデゴザイマスガ、其ノ投資融資ノミヲ通ジマシテ統制シテ行クト云フコトガ、現状ニ於キマシテ聊カ不十分ナ點モアルト思ハレルノデゴザイマス、其ノ點ヲ一ツト致シマシテ、御承知ノヤウニ内地カラ資材特ニ所謂物動關係ノ物資ヲ提供致シマスル場合ニ於キマシテ、計畫的ニ皆配分ガ決ツテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ重點的ニ配分致シマスヤウナ場合ハ、個々ノ子會社ヲ相手ニ政府ガ切符ヲ切ツテ行クト云フコトデハ、聊カ彈力性ノ點ニ於テ考ヘナケレバナラス點モゴザイマスルノデアリマシテ、此ノ北支方面ニ出シマスル物動資材ヲ

親會社ヲ通ジテ一本ニ配給スルト云フコトモ、極ク少量ノ物資ヲ以テ最大ノ效果ヲ狙ヒ、而モ重點的ニ之ヲ配給シテ行クト云フ爲ニハ、ドウシテモ考ヘナケレバナラス點デアアルカト思ヒマス、更ニ又現地地方カラ、内地ニ供給致シマスル石炭ニ致シマシテモ、或ハ鹽ニ致シマシテモ、其ノ他各般ノ鐵其ノ他ノ金屬等ニ致シマシテモ、今日迄ハ各子會社ガソレノ内地ニ之ヲ持ツテ來テ居ッタノ内、内地ヘノ供出モ、成ルベク親會社ニ繼メマシテ内地ヘ持ツテ來ルヤウニ致シマスルコトガ、配船計畫、或ハ交通上、サウ云ツタヤウナ愈、以テ最大能率ヲ擧ゲナケレバナラナイ現状ニ即シマシテ考ヘマスルト、ドウシテモサウ云フヤウニ考ヘタ方宜シイト思ハレル點モアル譯デゴザイマス、尙又現地デ以テ調達致シマスル資材等ニ於キマシテモ、個々ノ會社ガ個々ノ會計ニ於テ、又個々ノ立場ニ於テ買ヒ漁ルト云フコトモ、聊カ合理的ナラザル點モアルノデアリカト思ハレルノデアリマシテ、斯ウ云フ個々ノ會社ガ必要ト致シマス消費資材等ノモノニ付キマシテモ、成ルベク親會社ガ之ヲ一本ニ繼メテ買付ケマシテ、個々ノ會社ニ配給スルト云フヤウナコトモ、經濟原則ニ適ツタ行方デハナイカト思ハレル譯デゴザイマス、尙又其ノ他ニ例ヘバ各會社ノ福祉施設ト云フヤウナモノ、斯ウ云フヤウナモノモ個々ノ會社デ經營致シマセヌデ、病院其ノ他ノ施設ニ致シマシテモ親會社ガ統制致シマシテ、一ツノ設備ヲ各會社ガ共通的ニ利用スルト云フヤウナ行方ヲ採リマス、資材其ノ他資金ノ「セーブ」ヲスル意味カラ行キマシテモ必要デハナイカト思ハレルノデゴザ

イマシテ、サウ云フヤウナ所謂物資ノ融通部面、斯ウ云フモノニ於キマシテ、會社ヲシテ一元的ニ經營セシメマシテ、各會社ニ均霑的ニ或ハ重點的ニ利用ヲ圖ラシメルト云フコトニナツテ行クトモ一ツノ理由ニナツテ居ル譯デゴザイマス、尙其ノ他ニ例ヘバ英米戰開始等ニ依リマシテ、相當多種類ノ敵性企業ガ日本側ノ軍管理ニ移サレテ參ツテ來テ居ルノデゴザイマスガ、斯ウ云フ企業ヲ將來ドウ持ツテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ目下種種慎重考究中デゴザイマスルガ、如何様ニ決定致ス場合ニ於キマシテモ、日本側ノ業者其ノ他ヲ進出ヲ致サセマシテ、之ヲ委託管理セシメルト云フヤウナ場合、或ハ企業ノ經營ニ當ラシメルト云フヤウナ場合等ニ於キマシテ、急速ニ日本カラ適當ナ業者ヲ選擇シ、之ヲ進出セシメルト云フヤウナコトガ不可能デアルトカ、若シクハ非常ニ時間ガ掛ルト云フヤウナコトモ豫想セラレナイ譯デハゴザイマセヌノデ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、急速スウ云フ親會社等ヲ利用致シマシテ、當面ノ要求ニ從ハシメルト云フコトモ考ヘナケレバナラス點カト思フ譯デゴザイマス、尙其ノ他ニ例ヘバ國策上、ドウシテモ或非鐵金屬ヲ急速ニ開發シナケレバナラス、處ガ相當危險性モアリ、又資金ヲ調達スル點カラ行キマシテモ、適當ナ業者ヲ選定スル上カラ行キマシテモ、ドウシテモ相當ノ時間ヲ要スルト云フヤウナ場合ニハ、相當ノ犠牲ヲ忍ンデ親會社ヲシテ先ヅ之ニ當ラシメルト云フコトモ必要ニナツテ來ル點ナノデゴザイマス、サウ云フヤウナ點ヲ考ヘマスルト、ドウシテモ北支ニ於キマシテモ、北支開發株式會社ヲシテ自

親會社ヲ通ジテ一本ニ配給スルト云フコトモ、極ク少量ノ物資ヲ以テ最大ノ效果ヲ狙ヒ、而モ重點的ニ之ヲ配給シテ行クト云フ爲ニハ、ドウシテモ考ヘナケレバナラス點デアアルカト思ヒマス、更ニ又現地地方カラ、内地ニ供給致シマスル石炭ニ致シマシテモ、或ハ鹽ニ致シマシテモ、其ノ他各般ノ鐵其ノ他ノ金屬等ニ致シマシテモ、今日迄ハ各子會社ガソレノ内地ニ之ヲ持ツテ來テ居ッタノ内、内地ヘノ供出モ、成ルベク親會社ニ繼メマシテ内地ヘ持ツテ來ルヤウニ致シマスルコトガ、配船計畫、或ハ交通上、サウ云ツタヤウナ愈、以テ最大能率ヲ擧ゲナケレバナラナイ現状ニ即シマシテ考ヘマスルト、ドウシテモサウ云フヤウニ考ヘタ方宜シイト思ハレル點モアル譯デゴザイマス、尙又現地デ以テ調達致シマスル資材等ニ於キマシテモ、個々ノ會社ガ個々ノ會計ニ於テ、又個々ノ立場ニ於テ買ヒ漁ルト云フコトモ、聊カ合理的ナラザル點モアルノデアリカト思ハレルノデアリマシテ、斯ウ云フ個々ノ會社ガ必要ト致シマス消費資材等ノモノニ付キマシテモ、成ルベク親會社ガ之ヲ一本ニ繼メテ買付ケマシテ、個々ノ會社ニ配給スルト云フヤウナコトモ、經濟原則ニ適ツタ行方デハナイカト思ハレル譯デゴザイマス、尙又其ノ他ニ例ヘバ各會社ノ福祉施設ト云フヤウナモノ、斯ウ云フヤウナモノモ個々ノ會社デ經營致シマセヌデ、病院其ノ他ノ施設ニ致シマシテモ親會社ガ統制致シマシテ、一ツノ設備ヲ各會社ガ共通的ニ利用スルト云フヤウナ行方ヲ採リマス、資材其ノ他資金ノ「セーブ」ヲスル意味カラ行キマシテモ必要デハナイカト思ハレルノデゴザ

親會社ヲ通ジテ一本ニ配給スルト云フコトモ、極ク少量ノ物資ヲ以テ最大ノ效果ヲ狙ヒ、而モ重點的ニ之ヲ配給シテ行クト云フ爲ニハ、ドウシテモ考ヘナケレバナラス點デアアルカト思ヒマス、更ニ又現地地方カラ、内地ニ供給致シマスル石炭ニ致シマシテモ、或ハ鹽ニ致シマシテモ、其ノ他各般ノ鐵其ノ他ノ金屬等ニ致シマシテモ、今日迄ハ各子會社ガソレノ内地ニ之ヲ持ツテ來テ居ッタノ内、内地ヘノ供出モ、成ルベク親會社ニ繼メマシテ内地ヘ持ツテ來ルヤウニ致シマスルコトガ、配船計畫、或ハ交通上、サウ云ツタヤウナ愈、以テ最大能率ヲ擧ゲナケレバナラナイ現状ニ即シマシテ考ヘマスルト、ドウシテモサウ云フヤウニ考ヘタ方宜シイト思ハレル點モアル譯デゴザイマス、尙又現地デ以テ調達致シマスル資材等ニ於キマシテモ、個々ノ會社ガ個々ノ會計ニ於テ、又個々ノ立場ニ於テ買ヒ漁ルト云フコトモ、聊カ合理的ナラザル點モアルノデアリカト思ハレルノデアリマシテ、斯ウ云フ個々ノ會社ガ必要ト致シマス消費資材等ノモノニ付キマシテモ、成ルベク親會社ガ之ヲ一本ニ繼メテ買付ケマシテ、個々ノ會社ニ配給スルト云フヤウナコトモ、經濟原則ニ適ツタ行方デハナイカト思ハレル譯デゴザイマス、尙又其ノ他ニ例ヘバ各會社ノ福祉施設ト云フヤウナモノ、斯ウ云フヤウナモノモ個々ノ會社デ經營致シマセヌデ、病院其ノ他ノ施設ニ致シマシテモ親會社ガ統制致シマシテ、一ツノ設備ヲ各會社ガ共通的ニ利用スルト云フヤウナ行方ヲ採リマス、資材其ノ他資金ノ「セーブ」ヲスル意味カラ行キマシテモ必要デハナイカト思ハレルノデゴザ

親會社ヲ通ジテ一本ニ配給スルト云フコトモ、極ク少量ノ物資ヲ以テ最大ノ效果ヲ狙ヒ、而モ重點的ニ之ヲ配給シテ行クト云フ爲ニハ、ドウシテモ考ヘナケレバナラス點デアアルカト思ヒマス、更ニ又現地地方カラ、内地ニ供給致シマスル石炭ニ致シマシテモ、或ハ鹽ニ致シマシテモ、其ノ他各般ノ鐵其ノ他ノ金屬等ニ致シマシテモ、今日迄ハ各子會社ガソレノ内地ニ之ヲ持ツテ來テ居ッタノ内、内地ヘノ供出モ、成ルベク親會社ニ繼メマシテ内地ヘ持ツテ來ルヤウニ致シマスルコトガ、配船計畫、或ハ交通上、サウ云ツタヤウナ愈、以テ最大能率ヲ擧ゲナケレバナラナイ現状ニ即シマシテ考ヘマスルト、ドウシテモサウ云フヤウニ考ヘタ方宜シイト思ハレル點モアル譯デゴザイマス、尙又現地デ以テ調達致シマスル資材等ニ於キマシテモ、個々ノ會社ガ個々ノ會計ニ於テ、又個々ノ立場ニ於テ買ヒ漁ルト云フコトモ、聊カ合理的ナラザル點モアルノデアリカト思ハレルノデアリマシテ、斯ウ云フ個々ノ會社ガ必要ト致シマス消費資材等ノモノニ付キマシテモ、成ルベク親會社ガ之ヲ一本ニ繼メテ買付ケマシテ、個々ノ會社ニ配給スルト云フヤウナコトモ、經濟原則ニ適ツタ行方デハナイカト思ハレル譯デゴザイマス、尙又其ノ他ニ例ヘバ各會社ノ福祉施設ト云フヤウナモノ、斯ウ云フヤウナモノモ個々ノ會社デ經營致シマセヌデ、病院其ノ他ノ施設ニ致シマシテモ親會社ガ統制致シマシテ、一ツノ設備ヲ各會社ガ共通的ニ利用スルト云フヤウナ行方ヲ採リマス、資材其ノ他資金ノ「セーブ」ヲスル意味カラ行キマシテモ必要デハナイカト思ハレルノデゴザ

營セシメル餘地ヲ作テ置キマスルコトガ、

積極的ニ開發ヲ促進スルニ於キマシテモ、亦現狀ニ於キマシテ色々資材ノ獲得配給等ヲ行ハシメル點ニ於キマシテモ、ドウシテモ今度ノ改正ヲ致シマスルコトガ時局柄適當ハナイカト考ヘラレタノデゴザイマス、尙サウ云フ前提デ以テ自營事業ヲ爲シ得マスル建前ニナリマシテモ、ドノ事業ヲヤラセルカト云フコトハ、是ハ政府ガ許可ヲ致シマス、子會社等ト競合關係ニナラナイヤウニ、運用ニ依リマシテ完璧ヲ期シテ行キタイト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル譯デゴザイマシテ、差向キ政府ガ考ヘテ居リマスルモノハ、主トシテ物資關係ノ調達デゴザイマシテカ、福祉施設ノ設備デアリマス

ト言ヒマスカ、斯ウ云フ點カラ早ク親會社ヲシテ一元的ニ當ラシメルト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、大體以上ノ通りデアリマス

○橋本辰二郎君 御趣旨ノアル所ハ分リマシタガ、私ハ此ノ會社ガ自營ヲスル關係上、從來ノ子會社ノ事業ヲ奪フヤウナコトハナイカト云フコトヲ憂ヘテ居リマシタガ、只今ノ御説明ニ依リマシテ、サウ云フ競合又ハ摩摻ヲ避ケルヤウナ御方針ダト云フコトヲ聽キマシテ安心ヲ致シマシタガ、マア從來ノ子會社ノ事業ヲ統合シテ、之ヲ合理的ノ經營ニ移スト云フコトハ大變宜イコトト思ヒマスガ、何カ新規ニ、新ナル計畫ヲ御持チニナッテ居ルモノハナイノデアリマスカ

○政府委員(久保文藏君) 只今申上ゲタ通りデゴザイマシテ、御質問ノ意味ノヤウナ新規ニ考ヘテ居ルト云フヤウナ事業ハ只今

ノ所デハ政府トシテハゴザイマセス

○橋本辰二郎君 此ノ會社ノ是迄ノ事業成績デアリマスルガ、是ハ自己ノ利益ヲ以テ六分以上ノ配當ヲシテ居ッタノデアリマスガ、又主トシテ政府ノ補給ニ待ッテ居ッタノデアリマスガ、其ノ内譯等ニ付キマシテ一應ノ御説明ヲ願ヒタイ

○説明員(長谷川輝彦君) 北支那開發株式會社ノ今日迄ノ業績ハ、從來此ノ會社ハ主トシテ補給金ニ依ッテ收入ヲ得テ居リマシタノデ、漸次此ノ會社ノ業績ハ好轉シテ行クモノト思ハレマスガ、今日迄ノ所ハ主トシテ補給金ニ依ッテ主タル收入ニシテ參ッタデアリマス、ソレノ中ヨリ内譯ヲ申上ゲマス、昭和十三年度ニ於キマシテハ投資收入、融資收入ハゴザイマセス、受入利息ガ四十二萬圓、雜收入ガ千二百四十五圓、政府ノ補給金ガ八千二百四十一圓、昭和十四年度ニ於キマシテハ融資收入ガ二百八十一萬八千五百五十五圓、受入利息ガ三十六萬七千三百六十七圓、雜收入ガ八十三萬圓、政府ノ補給金ガ二百十三萬三千四百六十三圓、昭和十五年度ニ於キマシテハ投資收入ガ九十八萬圓、融資收入ガ約千萬圓バカリ、政府ノ補給金ガ六百十九萬圓、昭和十五年ノ乙年度ニ於キマシテハ投資收入ガ八十二萬圓、融資收入ガ四百一十一萬圓、政府ノ補給金ガ百三十六萬圓、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス

○赤池濃君 議事進行デチット……大分橋本サンノ御質問ガ重要ナ點ニ觸レテ參ッタデアリマスガ、興亞院ノ長官ハ御見エニナリマスカドウカ……

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 只今宮中ニ御出ニナッテ居リマシテ、追ッテ御見エニナ

ルサウデアリマス

○赤池濃君 何時頃デセウカ
○委員長(侯爵西郷吉之助君) 十一時頃ニハ多分御出席ニナルト思ヒマス
○橋本辰二郎君 只今ノ成績ニ付キマシテノ御説明ヲ承ッテ見マス、年々政府ノ補給額ガ増加ノ傾向ヲ迪ッテ居ルヤウデアリマスガ、今後ノ見透シニ付キマシテハドウ云フ風デゴザイマスカ

○政府委員(久保文藏君) 北支那開發株式會社ニ付キマシテハ、今日迄相當多額ノ政府補給金ヲ政府カラ補給致シマシテ參ッテ居ルノデゴザイマスルガ、御承知ノヤウニ北支ニ於キマシテ今日迄ニ政府ガ日華合辦ノ下ニ作リマシタ會社ハ相當多數ニ上ッテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ中デ最モ大キナ部分ヲ占メテ居ルノガ華北交通株式會社ナラシテ、親會社ガ投資致シマスル資金ノ大部分モ此ノ交通會社ニ投下サレル、斯ウ云フ關係ニナッテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ此ノ交通會社ノ業績ガ好轉致シマス云フコトハ、相當親會社ノ經理内容ニ大キナ實質的ノ影響ヲ齎ス次第ナラシメテ居リマスガ、此ノ交通會社ガ只今迄ノ處大分軍事行動ニ用ヒラレテ來テ居ッタノミナラズ、今日ニ於キマシテモ依然トシテ軍事上ノ必要ニ依ッテ路線ガ動イテ居ルト云フコトガアリマスノミナラズ、他面ニ於キマシテ日本ニ供出致シマスル石炭デアリマス

トカ、鐵礦デアリマス、サウ云ツタヤウナモノハ成ルベク多額ニ且成ルベク低廉ニ日本ニ供出スルト云フコトガ國策上下ウシテモ必要ニナッテ來テ居ル譯デゴザイマス、從ヒマシテ軍事上必要デアリマス運送

力以外ノ餘力ニ付キマシテハ、擧ゲテ之ヲ對日供給物資ノ低廉ナル供給ニ從事シテ居ル譯ナラシメマシテ、サウ云フ關係カラ申上ゲマスルト、華北交通株式會社ノ收入益ガサウ簡單ニ好轉シテ參ルト云フコトモナカ、行兼ネル譯ナラシメマシテ、サウ云フ事實ガ相當強ク支配ヲ致シテ居ッタ譯ナラシメマシマス、然ル處昭和十七年度ニ於キマシテハ、治安ノ漸次安定化スルト同時ニ經營能率ノ合理化等ニ依リマシテ、昭和十七年度ニ於キマシテハ華北交通株式會社モ大體三分乃至四分ノ配當ガ出來得ル可能性ガ相當強ク出テ參リマシタノデ、其ノ限りニ於キマシテ親會社ニ對スル影響ト云フモノハ相當好イ影響ヲ齎スノデハナイカト見テ居ル譯デゴザイマシテ、サウ云フコトニ相成リマスレバ、政府カラ此ノ親會社ニ對シマスル補給金モ相當減少スルコトニナラウト見透シテ居ル譯デアリマシテ、尙此ノ交通會社ノミナラズ、其ノ他ノ事業ニ於キマシテモ漸次好轉ヲ見テ居ル譯デアリマスルノデ、本年度以降ニ於キマシテハ、政府カラ出シマスル補給金ト云フモノハ相當減少ヲシテ參ルデアラウト云フヤウニ、其ノ點幾分樂觀ヲシテ見テ居ル譯デアリマス、尙北支那開發株式會社ガ日本カラ調達致シマシテ、現地各子會社ニ投資致シマスル金額ノ内、大體半分ガ此ノ華北交通ニ投下サレテ居ルノデゴザイマシテ、サウ云フ事實カラ見マスルト、華北交通會社ノ業績好轉ト云フコトガ相當此ノ親會社ニ好イ影響ヲ齎スト云フコトハ申上ゲテモ間違ヒナイ點デハナイカト思ッテ居ル次第デアリマス

力以外ノ餘力ニ付キマシテハ、擧ゲテ之ヲ對日供給物資ノ低廉ナル供給ニ從事シテ居ル譯ナラシメマシテ、サウ云フ關係カラ申上ゲマスルト、華北交通株式會社ノ收入益ガサウ簡單ニ好轉シテ參ルト云フコトモナカ、行兼ネル譯ナラシメマシテ、サウ云フ事實ガ相當強ク支配ヲ致シテ居ッタ譯ナラシメマシマス、然ル處昭和十七年度ニ於キマシテハ、治安ノ漸次安定化スルト同時ニ經營能率ノ合理化等ニ依リマシテ、昭和十七年度ニ於キマシテハ華北交通株式會社モ大體三分乃至四分ノ配當ガ出來得ル可能性ガ相當強ク出テ參リマシタノデ、其ノ限りニ於キマシテ親會社ニ對スル影響ト云フモノハ相當好イ影響ヲ齎スノデハナイカト見テ居ル譯デゴザイマシテ、サウ云フコトニ相成リマスレバ、政府カラ此ノ親會社ニ對シマスル補給金モ相當減少スルコトニナラウト見透シテ居ル譯デアリマシテ、尙此ノ交通會社ノミナラズ、其ノ他ノ事業ニ於キマシテモ漸次好轉ヲ見テ居ル譯デアリマスルノデ、本年度以降ニ於キマシテハ、政府カラ出シマスル補給金ト云フモノハ相當減少ヲシテ參ルデアラウト云フヤウニ、其ノ點幾分樂觀ヲシテ見テ居ル譯デアリマス、尙北支那開發株式會社ガ日本カラ調達致シマシテ、現地各子會社ニ投資致シマスル金額ノ内、大體半分ガ此ノ華北交通ニ投下サレテ居ルノデゴザイマシテ、サウ云フ事實カラ見マスルト、華北交通會社ノ業績好轉ト云フコトガ相當此ノ親會社ニ好イ影響ヲ齎スト云フコトハ申上ゲテモ間違ヒナイ點デハナイカト思ッテ居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 要スルニ北支ノ情勢が會社ノ收益ヲ齎スヤウニ好轉スルノデナケレバ、政府ノ補給金ガ漸次遞減スルト云フコトハテヨト望ミ難イヤウニ思ヒマスルガ、大體只今迄ノ御説明ニ依リマシテ、私ノ質問ハムト欲スル點ハ了得致シマシタ、私ノ質問ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、他ノ委員諸君ノ御質問ニ關聯致シマシテ重ネテ御發言ヲ願フコトガアルカモ知レヌト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○赤池濃君 我々ハ質問ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスガ、長官ガ御出デニナツタ時ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレハダスナ、北支開發ナリ、中支振興ナリノ會社ト云フモノハ、大々的ノ目的ヲ持ツテ居リ、又非常ナエライ宣言ヲ以テ創ラレテ居ルニ拘ラズ、兎角成績が上ラナイト云フ非難ガアル譯デアリマス、之ニ付キマシテハドウ云フ譯デサウ云フコトニナツテ居ルカト云フコトニ付テ責任アル政府ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ソレニ付テ改善意見ガ御有リニナルドラウト思ヒマスカラ其ノ點モ承リタイト思ヒマス、其ノ邊ノ意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスカラ、兎ニ角長官ノ御出デヲ待ツテ伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 十一時頃ニ御出デニナルト思ヒマスカラ、ソレデハソレ迄赤池委員ノ御質問ハ暫ク御待リ願ヒマス、他ニ御質問ゴザイマセヌデスカ……デハ皆サンニテヨト御諮リ致シマスガ、只今興亞院ノ及川長官ガ御出デニナリマセヌノデ、ソレ迄マダ時間モアルヤウデアリマスカラ、及川長官ニ御質問ノアル方ハ御待リ

願ヒマシテ其ノ間ニ中支振興株式會社ノ方ニ對スル御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウ云フ風ニ取計ラヒタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 此ノ會社モ大體北支那開發株式會社ト同ジヤウナ性質ノヤウニ思ヒマスルガ、其ノ中支那ノ方ハ自己ノ自營ヲシテ居ル事業ガ何カアリマシテセウカ

○政府委員(久保文藏君) 中支振興株式會社ニ於キマシテハ只今ノ處、自營ヲ致シテ居ルモノハゴザイマセヌ、唯過去ニ於キマシテ、現在華中鹽業株式會社ト云フモノガゴザイマシテ、主トシテ海州鹽方面ノ事業ニ當ツテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ華中鹽業株式會社ガ設立致シマスル迄、此ノ中支振興株式會社ガ其ノ事業ニ直接當ツタト云フ事實ガゴザイマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマス、差當リ自營ヲシテ居ル事業ト云フモノハ見ルベキモノガナイヤウニ思ヒマスガ、此ノ會社ノ收入ハ、投資ニ依ル所ノ配當及ビ融資ニ依ル所ノ金利ト思ヒマスガ、此ノ最近ノ投資ニ對スル所ノ收入及ビ融資ニ對スル金利ノ收入ハドシナ割合ニナツテ居リマスカ

○政府委員(久保文藏君) 御尋ノ點デゴザイマスルガ、最近昭和十五年度ニ付キマシテ申上ゲマス、昭和十五年度ハ一月カラ十二月迄デゴザイマスルガ、ソレニ付テ申上ゲマス、融資利息ハ約百四十八萬六千圓デゴザイマス、ソレカラ投資ノ配當金ガ百二萬圓デゴザイマス、合セマシテ約二百五十萬圓、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御説明ニ依リマス、收入ハ二百餘萬圓ト云フコトデアリマスガ、是ハ其ノ民間ノ出資ヲ五千萬圓ト見

マスルト、漸ク四分ニヨリ當ラナイヤウデアリマス、此ノ中カラ會社ノ經營費、本社費其ノ他ヲ引キマス、餘ス所幾分モナイヤウニ思ヒマスガ、之ニ付テ矢張り政府カラ相當ノ補助ヲシテ居ルト思ヒマスガ、昨年度ニ於ケル補助額ハドノ位デアリマスカ

○政府委員(久保文藏君) 昭和十五年度ニ於キマシテハ政府補助金ハ約七十三萬四千圓デゴザイマス

○橋本辰二郎君 割合ニ補助額ガ少イヤウニアリマスガ、六分ノ配當ト云フコトニ致シマス、五千萬圓ニ對シテ三百萬圓要リマスルガ、殆ド補助額ト配當金及利息ノ收入全部ヲ此ノ會社ノ配當ニ充當シテ居ルヤウニ思ハレマスガ左様デゴザイマスカ

○政府委員(久保文藏君) 只今申上ゲマシタヤウニ、昭和十五年度ニ於キマシテハ投資ノ配當ガ約百萬圓、ソレカラ融資ノ利息ガ約百五十萬圓デゴザイマシテ、其ノ外ノ政府補助金ト致シマシテ、七十三萬四千圓、斯ウ云フ收入ヲ得テ居リマシテ、ソレ以外ノ預金ノ利息或ハ雜收入ヲ加ヘマス、合計三百四十二萬圓ノ收入ニ相成ツテ居リマス、此ノ使途ニ付キマシテハ、配當金ト致シマシテ同年度ニ出シテ居リマスルモノハ七十五萬圓デゴザイマス、尤モ此ノ七十五萬圓ハ民間持株ニ對シテノ配當致シテ居ルノデゴザイマシテ、政府ノ出資株ニ付キマシテハ配當ヲ未ダヤツテハ居ラナイ譯デアリマス、大體サウ云フコトデアリマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマス民間ノ出資ハ幾何デゴザイマスカ

○政府委員(久保文藏君) 民間出資ハ千二百五十萬圓デゴザイマス

○橋本辰二郎君 此ノ會社ノ資本金ハ一億

萬圓ノヤウニ聞イテ居リマシタガ、若シ一億萬圓トスレバ、民間ノ只今ノ出資ノ千二百五十萬圓ノ殘リノ八千七百五十萬圓ト云フモノハ政府ノ出資ト見ナケレバナリマセヌガ、是ハマダ未拂込ガアルノデアリマスカ、全額拂込デアリマスカ

○政府委員(久保文藏君) 中支振興ニ付キマシテハ公稱資本金ハ一億圓デゴザイマスガ、民間ノ分ハ公稱株金額五千萬圓デゴザイマシテ、現實拂込ハ其ノ四分ノ一ノ千二百五十萬圓デゴザイマシテ、先程千二百五十萬圓ト申上ゲマシタノハ、拂込濟ノ金額ヲ申上ゲタノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 此ノ會社ノ本店ノ所在地ハ何處デアリマスカ、サウシテ又此ノ配當ニ對スル所ノ課稅關係ハドシナ風ニナリマスカ

○政府委員(久保文藏君) 中支振興株式會社ノ本店所在地ハ上海ニナツテ居リマス、課稅關係ニ付キマシテハ内地ニ其ノ事務所ガゴザイマスノデ、其ノ事務所ニ付キマシテノ課稅ヲ受ケテ居ル譯デアリマス

○橋本辰二郎君 事務所ダケガ源泉課稅ヲ受ケテ居ルトスレバ、此ノ株主ノ配當ニ對シテハ綜合課稅ハ受ケテ居ラヌト云フコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(久保文藏君) 内地ノ個人ガ此ノ會社ノ株ヲ持ツテ居ルコトニ依リマシテ受ケマスル配當ニ付キマシテハ、其ノ個人ニ於キマシテ綜合課稅ヲ受ケテ居ルコトニ相成ツテ居ル譯デアリマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマス、其ノ點ニ付キマシテハ何等内地ニ本社ノアル會社ノ配當ト差別ハナイヤウニ考ヘラレマスガ左様デアリマスカ

○政府委員(久保文藏君) 左様デゴザイマ
ス

○子爵綾小路護君 北支開發株式會社法案
ニ付キマシテ簡單ナコトヲ伺ヒタイト思ッ
テ居リマスガ宜シウゴザイマスカ

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 結構デゴザ
イマス

○子爵綾小路護君 先刻政府委員ノ御説明
中ニ非鐵金屬ニ付テ御述ニナリマシタヤウ
デアリマスガ、ドウ云フモノガ出マスカ、
此ノ鑛種ヲ御説明願ヒタイ、尙其ノ成績ニ
付キマシテ御差支ヘナケレバ伺ヒタイト
思ッテ居リマス

○政府委員(久保文藏君) 北支開發株式會
社ガ扱テ居リマス、地域ハ大體ニ於キマシ
テ支那ノ北支ト蒙疆デゴザイマス、此ノ御
質問ノドウ云フ鑛物ガ出ルカト云フ點ニナリ
マスルト矢張り北支ト蒙疆ニ付テノ御尋ト
存ゼラレマスルノデ、大體其ノ地域ニ重點
ヲ置キマシテ御答シ得ル限リニ於キマシテ
申上ゲテ見タイト思ヒマス、大體北支蒙
疆地域カラ出マスル物資デゴザイマシテ、其
ノ中特ニ日本ガ現在ノ處最モ大キク期待ヲ致
シテ居リマスルノハ、石炭ト鐵ヲ主トスル
モノデゴザイマス、石炭ニ付キマシテハ、
特ニ北支方面カラ出マスル製鐵用粘結炭ニ
重點ヲ置イテ、開發ヲヤツテ居ルノデアリマ
ヲ致シテ、支那、特ニ北支カラ我が國ニ供出致
シマスル石炭ノ量ハ、チヨット速記ヲ御止メ
願ヒタイノデアリマスガ……

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 速記ヲ止メ
テ……

午前十一時一分速記中止

午前十一時四十三分速記開始

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 速記開始
デハ及川長官モ御見エニナリマシタカラ、
長官ニ御質問ノ方ハ御願ヒ致シマス

○赤池濃君 德ハ及川長官ニ質問ヲ致シタ
イノデアリマス、只今北支開發ト中支振興
トノ兩會社ニ付テ合併シテ審議サレテ居リ
マスカラシテ、之ヲ一括シテ御尋シタイト
思ヒマス、此ノ兩會社ハ當時政府ガ東亞振
興ノ大理想ヲ以テ設立シタモノデアリマス
ガ、設立以來ドウモ成績ガ面白クナイト云
フ非難モアリマスルシ、就キマシテハ現狀
ハドウデアるか、其ノ現狀ノ大體ヲ先ヅ御
説明願ヒマシテ尙不成績ト云フナラバ其ノ
理由ノ在ル所ヲ御説明願ヒタイト思フノデ
アリマス

○政府委員(及川源七君) 只今御質問ノア
リマシタ點ニ付テ御答ヲ致シマス、只今此
ノ現地ニ於ケル治安ノ狀況カラ致シマシテ、
被害ガ比較的多イト云フコト、警備費ガ之
ガ爲ニ相當要シマスト云フコト、竝ニ勞働
者ノ定著性ト云フモノガ割合ニ稀薄デア
ルト云フ點カラ致シマシテ、尙物價ガ比較
的ニ不安定デアル、日本ノ物價水準ノ相違ニ依
ル經費ガ可ナリ増嵩致シテ居ルヤウナ次第
デアリマス、從ツテ人件費ガ内地ノ約三倍モ
掛カルト云フヤウナ狀況デアリマス、尙又
開發ノ資材、消費材ノ買入單價ト云フモノ
ガ可ナリ高イモノデアリマスノデ、相當支
出ノ上ニ於テ我々ガ豫期致シマシタ以上ニ
多クナツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、收入
ノ點カラ申シマスルト、軍事實算ノ節約
現地ノ民心安定等ノ爲カラ、低物價政策ヲ
堅持スル必要ガアル爲ニ、石炭ノ單價、交
通會社ノ運賃、電力料金ノ値上ヲ成ルベク

抑制ラスルト云フ施策ヲ執ツテ居ルノデア
リマス、斯様ナ譯デ收入ガ割合ニ少イト云
フ結果ヲ來シテ居ルノデアリマス、從ツテ
現在ノ收支ノ狀況ハ決シテ良好デアルト云
フコトガ出來ナイト自信ヲ致シテ居リマス、
併シ我々ハ是デ満足シテ居ルノデハナイノ
デアリマス、殊ニ支那ノ事情カラ申シマシ
テ、治安ノ急速ナル安定ハ望ミ得ナイノデ
アリマシテ、此ノ治安ノ不安定ヲ恆常的ナ
要素トシテ見込ミ、此ノ條件ノ上ニ各會社
ノ經營ノ改善、安定ヲ得ルヤウ、極力人的、
物的施設ノ能率の活用ヲ圖ルヤウ、各種ノ
施策ヲ講ジテ居ルヤウナ現狀デアリマス
○赤池濃君 只今長官カラ概括的ノ御話ガ
アリマシタ、私ハ先ヅ御聽キシタイノハ、
北支會社ノ目的ハドウ云フ目的デアるか、
ソレデ事業ハドウ云フ事業ヲ經營スルト云
フ目的ダツカト云フ、其ノ事業ノ現況ハ
ドウデアるか、ソレカラ中支振興ニ付テハ、
中支ノ會社ト云フモノハ如何ナル目的デ
テ、如何ナル事業ヲ經營スルト云フコトニ
ナツテ居リマスカ、其ノ事業ガドウナツテ居
ルカト云フ概況ヲ先ヅ御説明願ヒタイト思ッ
タノデアリマスガ、其ノコトヲ概略御説明
願ヒタイト思ヒマス、尙申シテ置キマスガ、
先程北支會社ニ付テハ華北交通會社ガ大キ
ナコトヲヤツテ居ル、華北交通會社ノ狀況
ハ、大體其ノ事業ニ付テハ御説明ニナツテ
居リマスカラ、ソレニ付テハ今特別ニ御説
明ヲ願ハナクテモ結構デアリマス

○政府委員(及川源七君) 兩會社ノ目的ト
云フ御質疑ニ對シマシテ、先ヅ御答ヘ致シ
タイト思ヒマス

○赤池濃君 目的デヤアリマセス、私ハ事
業ヲヤツテ居ル其ノ事業ノ概況ヲ、目的タル
事業ノ概況ハドシナ風デアリマスカト云フ
コトヲ承リタイ

○政府委員(及川源七君) 事業ノ概況ヲ申
上ゲルコトニ致シマス、此ノ北支開發株式
會社竝ニ中支振興會社ノ主ナル事業ト致シ
マシテハ投資、融資ヲ爲スト云フコトヲ主體
ト致シテ居リマス、現在迄ニ此處デ分ツテ居
リマスモノヲ其ノ業績ヲ申上ゲマスレバ、
昨昭和十六年十二月末現地ニ於ケル投資總
額ハ二億八千六百萬圓デアリマス、融資總
額ハ五億三千三百萬圓合計八億一千九百萬
圓デアリマス、右ノ所要ノ資金ハ第一回ノ
株金拂込及政府ノ既往三回ニ互ル現物出資
ニ依ルノ外概ネ社債ニ依ルコトト致シマシ
タ、昨年末現在ノ社債發行額ハ六億五百萬
圓餘ニ達シテ居ルノデアリマス、次ニ會社
ノ營業狀態ヲ見マスルニ、初メノ營業年度
タル昭和十三年度ニ於キマシテハ、營業日
數僅ニ五十五日ニ過ギマセヌ爲ニ無配當ト
ナスノ已ムナキニ至ツタノデアリマスガ、
昭和十四年度ニ於キマシテハ民間株ニ對シ
マシテ年四分五厘、昭和十五年度及昭和十
五乙年度、是ハ營業年度變更ノ爲ノ經過の期
間デ、三箇月デアリマス、之ニ於キマシテ
ハソレノ民間株ニ對シマシテ六分ノ配當
ヲ爲シ昭和十六年度ニ於キマシテモ同様ノ
配當ヲ行フ見込デアリマス、同社ノ現在
投資又ハ融資ヲ爲シテ居リマス關係會社ハ
昨年末ニ於キマシテハ二十三社ハ組合デア
リマシタ、是等會社及組合ノ營業狀態ハ既
ニ配當ヲ開始セルモノ十三社、無配當ノモ
ノ五社、未決算ノモノ五社デアリマシテ、
組合ハ何レモ未決算デアリマス、次ハ中支
那振興會社ニ付テ申上ゲマスレバ、本會社
ノ業務モ前申上ゲマシタ如ク投資及融資ヲ

主體トシテ業務ヲ行フテ居ルノデアリマス
 ルガ、之ヲ從來ノ實績ニ付テ申上ゲマスレ
 バ、昨昭和十六年十二月末現在ニ於ケル投
 資總額ハ六千萬圓、融資總額ハ一億百萬圓、
 合計一億六千萬圓デアリマシテ、右所要
 ノ資金ハ第一回ノ株金拂込及政府ノ既往三
 回ニ互ル現物出資ニ依ルノ外、概ネ社債ニ
 依ルコトト致シ、昨年末現在ノ社債發行額
 ハ一億圓ニ達シテ居ルデアリマス、次ニ
 會社ノ營業狀態ヲ見マスルニ、初營業年度
 タル昭和十三年度ニ於キマシテハ、北支那
 開發株式會社ニ於ケルト同様、營業日數僅
 カニ五十五日ニ過ギナイデアリマスルガ
 爲無配當デアリマシタガ、昭和十四年度ニ
 於キマシテハ、民間株ニ對シマシテ年四分
 五厘、昭和十五年及昭和十五年、營業年
 度變更ノ爲ノ經過ノ期間デアリマシテ三月
 デアリマス、ニ於キマシテハ、ソレト、民
 間株ニ對シマシテ六分ノ配當ヲ爲シ、昭和
 十六年度ニ於キマシテモ同様ノ配當ヲ行フ
 見込デアリマス、同社ノ現在投資又ハ融資
 ヲ爲シテ居リマス關係會社ハ、昨年末ニ於
 キマシテ十三社、二組合デアリマシテ、是
 等會社及組合ノ營業狀態ハ漸次好轉シマシ
 テ、無配當ノモノハ唯一社アルニ過ギマセ
 ス、他ハ何レモ最低五分、最高一割ノ配當
 ヲ爲シテ居ルヤウナ現況デアリマス、以上
 ヲ以テ大體御質疑ニ對スル御答辯ト致シマ
 ス

本條約ヲ締結致シマシタ際ニ、此ノ條約ニ
 基キマシテ、經濟ノ兩國ニ於ケル調整ヲス
 ルコトニナツテ居ルデアリマス、是ハ國防
 上必要トシナイ事業ニ付キマシテハ、成ル
 ベク速カニ國民政府ノ事業ニ移スト云フ方
 針ヲ以テ進ミツ、アルデアリマス

○赤池濃君 サウシマス、會社ノ事業デ
 ゴザイマスガ、事業ハ結局ドウナルノデス
 カ、現狀維持デナクテ、現狀ノ儘事業ヲ
 繼續スルノデナクテ、近キ將來ニ備ヘテド
 レダケノモノヲ委讓サレルノデスカ、大部
 分委讓サレルノデスカ、ドウナルノデスカ

○政府委員(久保文藏君) 私カラ御答ヘ致
 シマス、今長官カラ御答ヘ申上ゲマシタヤ
 ウニ、國民政府側ト日本側ト間ニ色々ナ
 一ツノ御話合ガアルノデゴザイマスガ……

○赤池濃君 若シ機密ノコトデ御答辯シニ
 クイナラ速記ハ要リマセヌカラ……

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 速記ヲ止メ
 テ……

午後零時六分速記中止

午後零時二十分速記開始

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 速記ヲ始メ
 テ……時間モ經チマシタノデ、午前ハ此ノ
 程度ニ止メマシテ、午後一時半カラ再會致
 シタイト思ヒマス

午後零時二十一分休憩

午後一時三十五分開會

○委員長(侯爵西郷吉之助君) デハ午前中
 ノ委員會ニ引續キマシテ本委員會ヲ開會致
 シマス、速記中止

午後一時三十六分速記中止

午後二時三十七分速記開始

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 速記ヲ始メ
 テ……外ニ御質問ゴザイマセヌカ

○小倉正恒君 先程來色々ト御話ヲ承リ、
 大體私ノ質問モ必要ナクナツタヤウナモノ
 デアリマスガ、今日ニ於キマシテハ、兩會
 社共調査ハ出來テ居ルデアリマスケレド
 モ、モウ少シ深い、又先刻政府委員カラ御
 話ノアリマシタヤウニ、物質ダケデナク、
 精神方面、文化的ノ調査ヲ加ヘタル所ノ調
 査ヲシテ行キタイト云フノガ私ノ考ノ本デゴ
 ザイマス、ト申スノハ、申ス迄モナク外地
 ニ於テハ、殊ニ資金ト云フモノノ使ヒ方ヲ
 餘程嚴密ニシナケレバナラス、内地ト違ヒ
 マシテ、向フデ使ツタ金ニ付テハ、ドウシテ
 モ此方カラ物ヲ送リマセヌト云フト決濟ガ
 出來ヌノデアリマスカラ、一層大切ナモノ
 デアル、向フデハ何等サウ深イ意味ナシニ
 御使ヒニナツタモノデモ、隨分此方カラ物ヲ
 送ラナケレバナラス關係デ面倒ナコトニナリ
 マス、非常ニ資金ノ使ヒ方ニ付テハ嚴密ナル
 注意ヲ要スル、サウシテ滿洲ノ例ヲ見マシテ
 モ、其ノ資金ガ適當ニ適當ニ使ハレタ結果
 非常ニ遊休設備ガ出來テ居ルデアリマス、
 折角物ガ出來タケレドモ唯遊シテ居ル、斯
 ウ云フトガアリマス、其ノ原因ハ何カト
 云フト、調査不十分デアアル、調査ガ十分デ
 ナカッタト云フトニ相成ルヤウニ思ヒマ
 ス、外ニモ色々原因ガゴザイマスケレドモ、
 併シナガラ其ノ調査不十分ト云フトガ大
 ナル原因ノヤウニ思ヒマス、例ヘバ一例ヲ
 以テ見マスレバ、何かチヨット鑛山ガアル、
 少シ脈ノ良イモノガアルト云フト、モウ是
 ハ宜シイト云フト、別段ノ探鑛モ十分シ
 ナイデ色々設備ニ取掛カル、サウシテ色々

設備ガ出來テ參リマス、肝腎ノ鑛石ガナイ
 ト云フトニナリマス、矢張り調査ヲ本式
 ニヤルト云フトガドウシテモ斯ウ云フ開
 發ニハ必要デアラウト思フ、私ハドウシテ
 モ今度御附加ヘニナリマシタ自營ノ中ニハ
 調査ト云フトニ付テ十分ナル御考ヘヲ及
 シテ、ソレガ出來マセヌト云フト、假ニ重點
 主義ヲ採ルト致シマシテモ、石炭ヤ何かハ
 分ツテ居リマスガ、ソレ以外ノモノニ付キマ
 スルト云フト、餘程未知數ノモノガ多イノ
 デアリマスカラ、ドウ云フ風ニヤツデ宜イ
 カ分ラナイ、サウ云フトハ一例デアリマ
 スガ、地下資源ニ付テ言ヒマスレバ斯ウ云
 フコトニナリマス、又先刻御話ノアリマシタ
 ヤウナ合辦事業ガウマク行カヌト云フヤウ
 ナコトモ、矢張りソコニ行カナイ原因ガアリ
 マス、矢張り向フノ文化ノ關係、思想ノ關
 係、サウ云フトヲ深く調査サレル必要ガ
 アル、サウ云フトモ併セ御考ヘ下サイマ
 シテ、此ノ自營ノ中ニサウ云フトヲ一ツ
 重キヲ加ヘテ戴キタイ、勿論ソレハ既ニ御
 調査ニナツテ居ルコトト思ヒマスガ、尙老婆
 心ノヤウデアリマスケレドモ其ノ希望ヲ申
 添ヘテ置キマス

○政府委員(及川源七君) 只今ノ御質問ニ
 對シマシテ御答ヘ致シマス、調査ノ必要デ
 アルト云フ御意見ニ對シマシテハ、全ク私
 共モ御同感ヲ表スル次第デアリマスルガ、
 北支ニ於キマシテハ、昭和十五年ノ五月一
 日ニ外局トシマシテ調査局ヲ設ケマシテ、
 一般ノ調査ヲ致シタノデアリマスルガ、最
 近ニ至リマシテ、特ニ地下資源ノ調査ニ重
 點ヲ置キマシテ、石炭トカ、或ハ鐵、銅、
 鉛、「ニッケル」ト云フヤウナ各種ノ調査ヲ實施
 セシメツ、アルヤウナ次第デアリマス、尙

中支ニ於キマシテハ中支調査聯合會ナルモ
ノヲ作リマシテ、是ガ中心トナリマシテ、
官民一體トナツテ調査ヲ實施シテ居ルヤウ
ナ次第デアリマス、其ノ目標モ亦目下必要
トスル所ノ地下資源ニ重點ヲ置クコトハ、
北支ト變リナイノデアリマス、尙一般の其
ノ他ノ調査ニ付キマシテモ親會社、子會社、
或ハ其ノ他ノ機關ト連絡致シマシテ、全般
ノ調査ニ銳意努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第
デアリマス、尙資金、或ハ文化ノ具體的調
査ノ件ニ關シマシテハ、此ノ擔當ノ政府委
員ガ參ッテ居リマスノデ、其ノ方カラ御説明
ヲ申上ゲルコトト致シマス

○政府委員(松村憲君) 私ハ文化部ノ事務
ヲ擔當シテ居リマスノデ、其ノ方面ノコト
ニ關シマシテ御答へ申上ゲマス、此ノ丁度戰爭
ガ起リマシタ六年前ト申シマス、其ノ當
時暫クノ間、我が國ニ於テ多クノ方面カラ
概カレテ居リマシタコトハ、思想方面、日
支兩國ガ思想的ニ非常ニ了解力ガ十分ニ達
シテ居ナイ、支那ハ日本ヲ十分ニ理解セズ、
日本モ亦近世ノ物質文明、詰リ歐米文明ニ
眩惑サレタ結果、其ノ方ニ、有頂天ニナッ
テ居ッテ、サウシテ此ノ東洋文化ノ非常ニ道德
性ノ貴イト申シマス、非常ニ貴重ナル方面
ニ付テ、多少ソレヲ等閑ニスルト云フ風ノ
コトガアルノデハアルマイカ、我々ノ祖先、
建國以來我が日本國ノ道德ト云フモノハ非
常ニ高イモノデアリマシテ、今日ニ於テモ
決シテソレハ低クナツテ居ルノデハアリマ
セスケレドモ、ソレガ兎角此ノ物質生活ニ
餘リニ重點ヲ置キ過ギル關係デ、此ノ人生
ノ享樂方面ト云フヤウナコトニ流レ、ソレ
ハ修養ノ方面カラ言ヒマスト墮落デアリマ
スガ、サウ云フ風ノ墮落的ノ傾向ヲ持ッタ爲

ニ、自ラヲ、所謂自尊心ト云フヤウナモノ
ガ、大變空ニナリマシテ、サウシテ當ッテ千
五百年以前、所謂隋唐ノ文化、ソレカラソ
レヨリズツト前ノ二千五、六百年前ノ彼ノ
孔子ノ道德デアルトカ、其ノ外非常ニ尊貴
ナル東洋ノ精神文化ト云フヤウナコトガ、
是ガ大變大切デアルニモ拘ラズ、ソレヲ多
少斯ウ等閑ニシタト云フ關係ガアルト云フ
ヤウナ、サウ云フコトデ、兩國ガ本當ニ所
謂大和民族ト漢民族ト云フモノハ、世界ニ
比類ノナイ文化民族デアリナガラ、ソレガ
五ニ無了解ナ有様デ進ムコトハ慨ハシイト
云フヤウナ嘆キガ大變深刻ニ言ハレタコト
ヲ感ジマス、サウ云フ關係デ、此ノ精神的
道德的方面デ、日本ト支那トハ十分ノ理解
ヲスル必要ガアルノデハアルマイカ、我々
ノ祖先、先輩ハ、此ノ東洋ノ道德ニ付テ十
分ナル研究モ遂ゲテ居リマスシ、今更調査
研究ト云フ程ノコトハ要ラナイノデアリマ
スケレドモ、併シ今日歐米ノ物質文化ニ餘
リニ走り過ギテ、總テノ教育ガ、子供ノ時
カラ大人ニナル迄ノ教育ト云フヤウナモノ
ガ、サウ云フ方面ニ餘リニ傾キ過ギテ居ル
關係デ、茲ニ矢張り新ナル體制ヲ取ル必
要ガアルノデハアルマイカ、ト云フヤ
ウナ氣持デ、是ハ特ニ支那文化ト云フ
ヤウナコトヲ言フ人モアリマスケレド
モ、私ハソレハ矢張り日本ト支那トハ同一
ノサウ云フ方面デハ文化デアリ、支那ノ
精神道德ハ日本ニ於テソレガ醇化サレ、ソ
レデ非常ニ高イ所ニ持來サレテ居ルノデア
ルト云フヤウナコトヲ私ハ信ジテ疑ヒマセ
ヌノデスガ、サウ云フ方面ノ見地カラ、此
ノ主トシテ文部省ノ所管關係ニ其ノ方面ノ
コトガ中心デアリマスノデ、文部省ノ色々

ナ其ノ局ニ在ル人ト、常ニ密接ト連絡ヲ致
シマシテ、サウシテ文部省ノ所管ノ教育關
係ノ國家機關ト云フヤウナモノ、其ノ教育
者、學者、サウ云フヤウナモノノ常ニ協力
ヲ求メマシテ、サウシテ今、サウ云フ點ヲ
御考へニナツテ居ルト思ヒマスデスガ、サウ
云フ方面ノ調査研究ト云フコトヲ出來ルダ
ケ急イデヤル方ニ、此ノ四年以來努力シテ
居リマス、ソレカラ此ノ開發會社、開發關
係、サウ云フ風ノ經濟的部門ト非常ニ密接
ト交渉ヲ持ツコトニナリマセウガ、勤勞ス
ル爲ノ肉體ノ保健問題デス、病院關係ニモ
ナリマスシ、又色々傳染病ノ豫防ナリ而
モ力強ク現地地働クト云フコトガ、正シク
出來ルヤウニ、サウ云フ方面デモ興亞院デ
ハ從來外務省ノ文化事業部デ助成シテ居リ
マシタ同仁會ト云フモノヲ、之ヲ出來ルダ
ケ育成強化スル例へバ助成費ニ於キマシテ
モ、外務省時代ハ年額四十萬圓内外ノ助成
費ヲ以テ臨ンデ居リマシタモノヲ、興亞院
ノ監督下ニ置カレマスニ當ッテハ、其ノ後五
百萬圓、六百萬圓、今日デハ實ニ一千萬圓
ト云フヤウナ相當ニ巨額ノ助成費ヲ出シマ
シテ、ソコデ助成費ヲ與ヘルト同時ニ、政
府側ノ指導力ト云フモノヲ非常ニ強ク加へ
マシテ、丁度昭和十三年ノ末ニ興亞院ガ設
ケラレマス、間モナク興亞院總務長官カ
ラ、全國ノ醫科大學ニ御願ヲシマシテ、同
仁會ハ全國ノ醫學ヲ集メシメルヤウ
ニ、ドウカ御協力ヲ願ヒタイ、今日ノ狀態
デハ遂次三年間ニ互ル新經營ト云フヤウナ
モノガ報ヒラレマシテ、今日デハ其ノ方面
ノ總力ガ加ッテ居リマス、ソレハ何レ大陸ニ
赴イテ日本人ガ十分ニ力ヲ出スコトガ出來
ル、又向フニ安住スルコトガ出來ルヤウニ、

將來子孫ノ計ヲ安ンジテスルコトガ出來ル
ヤウニト云フヤウナ方面ニ向ッテ、所謂大陸
進出ト云フ言葉ガアリマスガ、東亞ヲ守ル
ト云フヤウナ國防的ノ意味ニ、高度ニソレ
モ附イテ行クヤウニ努力シテ居リマス、尙
話ハ少シ抽象的ニナリマスケレドモ、文化
方面デハ日本ト支那トガ教育ハ非常ニ重點
ヲ置クベキデアリマシテ、ソレデ教育ノ中
心ハ先ヅ道德ヲ根幹トシテ、サウシテ生活
科學、是ハ輕卒ニ誤解スル人ハヨク是ガ物
質的ダト言フ人モアリマスガ、ソレハ決シ
テ物質的デナイノデアリマシテ、心ガアッテ
モ物ガナイト心ハ空ニナリマスカラ、歐米
ノ物質文化ニ負ケナイヤウニ、茲ニ迫力ヲ
昂揚サセナケレバナラス、物質生活方面ニ
於テモ十分ニ堅實ナ正シイ力ヲ持ッテナケ
レバナラス、ソレデ物心一如、是ハ東洋精
神ノ「モットー」ト考ヘルノデスガ、サウ云
フ方面ニ油斷ナク努力ヲ進メテ行クヤウニ
行政事務ヲ執ッテ參リマシタ次第デアリマ
ス、チヨット御答へ申上ゲマス

○政府委員(久保文藏君) 資金ノ點ニ付キ
マシテ御答へ申上ゲマス、御質問ノ御趣旨
ハ日本カラ現地開發ノ爲ニ資金ヲ持ッテ行ッ
テ居ルガ、果シテ效率ガ學ッテ居ルカ、斯ウ
云フヤウナ御趣旨ト承致シタノデゴザイ
マス、私共ト致シマシテハ内地ノ資金市場ノ
動向カラ見マシテ、出來マスル限り、資金ノ
點ニ於キマシテモ、内地ニ御迷惑ヲ掛ケマ
スルコトハ避ケタイ、斯ウ云フコトヲ根本
方針ニ致シテヤッテ居ルノデゴザイマシテ、
成ルベク最小限度ノ資金ヲ以テ、内地ガ必
要ト致シマスル物資供出ニ最大ノ御期待ニ
副ヒ得ルヤウニヤッテ行キタイト云フコトヲ
念願致シマシテ、資金計畫ト事業計畫トノ重

點化ヲヤツテ居ル譯デアリマス、尙サウ云フ考デ資金調達ノ金額ヲ出來得ル限リ減ラシマスト同時ニ、内地カラ御面倒ヲ願ヒマシク金額ニ付キマシテハ百パーセントノ效率ヲ擧ゲマスルヤウニ、先ヅ其ノ配分ヲ重點的ニ考ヘマシテ、内地ノ必要トスル物資ニ、成ルベク多額ニ配分サレマスルヤウニ意ヲ拂フト同時ニ、一面内地カラ供出シ、若シクハ現地地調達致シマスル物資ノ調達、斯ウ云フモノトモ配合セマシテ、資金ノ配分ヲヤル譯デアリマス、北支、中支等ニ付キマシテ、サウ云フ地域的ノ考ヘ方デ配分ヲヤリ、更ニ各地域ニ付テ、各事業ニ付キマシテ、今申上ゲタヤウナ考ヘ方デ事業間ノ配分ヲヤル譯デアリマス、更ニ運用上計畫ヲ決メマシタガ、ソレハ計畫ヲ決メマスル場合ノ考ヘ方デゴザイマスガ、計畫ヲ決メマシタ後ノ計畫ノ運用ニシマシテモ、我々ト致シマシテハ時局ノ要請、情勢ノ變化等ニ即應致シマシテ、成ルベク資金全體ガ弾力性ヲ持ツテ、常ニ國家ノ要請スル方面ニ動キ得ルヤウナ考ヘ方デ運営ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ石炭カラ鐵ニ重點ガ移ルト云フコトガ假ニゴザイマスレバ、サウ云フヤウニ資金其ノモノモ資材配給ト共ニ動イテ行クヤウナ氣構デヤツテ居ル譯デアリマス、尙經理的ニ申上ゲマス、親會社ヲ通ジ各子會社ニ對シマシテ、内地ノ經理統制準則ト云ツタヤウナ考ヘ方ニ即シマシテノ指導ヲ相當強クヤツテ居ルノデゴザイマシテ、假ニ資材ノ實施ノ點カラ云ツテ、資金ノ方ガ餘ルト云フヤウナコトガゴザイマスレバ資金「カット」スル、同時ニ他ニ色々ナ情勢ノ變化デ開發ヲ促進シナケレバナラナイ、或ハ開發量ヲ殖ヤサナケレバナラナイ

事業ガゴザイマシタナラバ、資材ト共ニ資金モ其ノ事業ノ方ニ移ツテ參リマシヤウニ、緩急、要不要ヲ勘案致シマシテ、資金全體ノ效率ヲ擧ゲマスヤウニ努力致シテ居ル譯デアリマス、私共ト致シマシテハ、資金方面ノ運営ハ相當巧ミニ運営サレテ居ルモノト信ジテ居ルノデゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 小倉委員 小倉正恒君 只今長官初メ政府委員カラ段々ノ御説明デ能ク了承致シマシタ、先ヅ地下資源ノ調査ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ調査ト云フモノハ直グニ右カラ左ニ效果ガアルト云フ風デハナイヤウニ思フノデ、兎角金ガ出シニククナルノデアリマス、併シナガラ私ハ是ハ矢張り思切ツテ出ス必要ガアルト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、ドウゾ一ツサウ云フ風ニ會社ノ方、又政府ノ方デ御考ヘ下サルヤウニ、斯ウ云フヤウニ思フノデアリマス、ソレカラ又精神文化ノ調査ノコトニ付キマシテハ、全ク今ノ御説明ト同感デアリマシテ、矢張り大和民族ト漢民族トガシツカリ精神的ニ結び付イテ行ク、手ヲ握リ合フテ行ク、是ガ非常ニ重大ナ問題デアツテ、兎ニ角マア南洋、何處ノ方面ヘ行キマシテモ漢民族ガ多イノデアリマス、是ハ矢張り日本人ガシツカリ精神的ニ結び付カスト云フト、ドウモ效果ガ薄イノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ思ヒマス、ソレハ先刻御話ノヤウニ矢張り文化的ニ精神文化ノ上デ大イニ私ハ調査研究ヲ進メラレタ人ガアツタモノト思フ、サウシテハ色々御考ヘモアリマセウガ、自分タケノ一二、三ノ經

驗カラシマスルト云フト、ドウモ佛教デモ儒教デモイカヌヤウニ思ヒマス、矢張り日本ハ日本ノ古神道ノ道ヲ支那人ニ持ツテ行クト云フノガドウモ工合ガ好イ、是ハ實際ノ例デアリマス、段々サウ云フヤウニ御考ヘニナツテ居ルト思ヒマスルガ、矢張り何ト云ヒマスルカ、日本ノ眞ノ生粹ノ良イモノヲ向フヘ持ツテ行ケバ矢張り向フニモ分ル、又向フノ生粹ノモノヲ持ツテ來レバ矢張り日本人ニモ分ルト云フ風ニナルノデアリマシテ、サウスルト云フトソコデ向フノ魂トコッチノ魂ト觸レ合ツテ、ソコデ一ツノ結び付キガ出來ル、サウ云フ風ニナルノデハナイカト思ヒマス、要シマスルニソレハ尙研究問題デアリマスルガ、ドウゾ一ツ大切ナ問題デアリマスルカラ、大和民族ト漢民族ノ精神文化ノ融合ト云フトコトニ付テ篤ト御研究ヲ願ヒタイノデアリマス、第三ノ點ノ資金ノ運営ニ付キマシテハ段々ノ御心配モアラウト思ヒマス、私ハ誠ニ色々御配慮ニ付テ敬意ヲ表スルノデアリマス、唯ドウシテモ大キナ會社ニナリ、親會社子會社ト云フヤウナ關係ニナツテ來マスルト云フト、段々組織モ大キクナリ、又舞臺モ大キクナルニ從ツテ兎角浪費ヲ行キマセヌデモ、モウ一ツシツカリ行カス、十分ナル形式ガ出來ナイヤウナ場合モ世ノ中ニ多イノデアリマス、又政府御當局ニ於テモサウ細カク監督モ行カヌヤウナ點モアルカトモ思ヒマス、ドウゾ十分ニ斯ウ云フ點ハ念ノ上ニモ念ヲ入レテ色々ノ方法ヲ講ジテ、浪費ナリ浪費ニ類シタコトガ行ハレナイヤウニ此ノ上ナガラ一層ノ御配慮

ヲ切望スル次第デアリマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 北支、中支兩會社ニ對シマシテ外ニ御質問ハゴザイマセヌカ、デハ皆様ニチヨット御諮リ致シマスガ、北支、中支ニ對シテハ御質疑モ別段外ニオアリテナイヤウデアリマスカラ、此ノ邊デ兩會社ノ法律案ニ對スル質疑ハ是デ打切りマシテ、討論ハ一括シテ最後ニヤルコトニ致シマシテ、次ニ日本勸業銀行外二件ハ内容ガ關聯シテ居リマスカラ、一括致シマシテ御質問願ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 米山委員 米山梅吉君 此ノ三銀行ノ改正案ヲ一括シテ御相談サレルト云フトハ極ク宜イコトト思ヒマス、私モソレガ宜イト思ヒマス、此ノ改正ノ條文、文句ナドニ多少ノ多イ少イハアリマスガ、要スルニ一番大事ナ點ニ於テハ其ノ揆ヲ一ニシテ居ルノデアリマシテ、即チ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シテハ無抵當デ、即チ特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人、法令ニ依リ組織セラレタル組合又ハ其ノ聯合會、之ニ對シテハ大藏大臣ノ認可ヲ得テ無抵當デ貸付出來ル、是ガ大事ナ點デ、之ヲ此ノ三ツノ銀行ヲ通シテ爲サラウ、要スルニ時局ニ鑑ミ、産業ノ發達、擴充ト云フトニナル譯デアリマス、デアリマスカラ、アトハソレニ必要ナ條文改正デアツテ、此ノ大事ナ點ニ付テ御當局ノ御説明ヲ御願ヒスレバ、アトハ自ら決シテ行クモノト思ヒマス、故ニ私ハ御當局ニ此ノコトダケ御説明願ツテ、サウシテ其ノ點ニ付テ質疑スル、サモナケレバ此ノ三ツノ案ハ明瞭ナ案デ、餘リ異論ノナイ案デア

○政府委員(山際正道君) 只今御話ノゴザ

イマシタ組合デアリマスルトカ、法律其ノ

他ニ依リマシテ設立セラレマシタ法人等ニ

對シマシテ、或必要ノ場合ニ無抵當貸付

ガ出來ルト云フ趣旨ノ規定ハ、御話ノ如ク

今回ノ改正ノ主要ナル點ヲ成シテ居ル問題

デアリマス、少シク其ノコトニ關シマ

シテ御説明ヲ申上ゲマス、先ヅ無抵當貸付

ヲ行ヒ得ル組合ナドノ範圍ヲ擴張スルコト

デゴザイマス、現在ノ法律ニ依リマスルト、

例ヘバ勸業銀行ヲ御覽戴キマスレバ、産

業組合、蠶絲共同施設組合、工業組合、漁

業組合、森林組合、畜産組合、住宅組合、

又ハ其ノ聯合會ニ對シ無抵當貸付ヲ爲スコ

トヲ得ト、斯ウ云フ風ニ一々列擧シテ無抵

當貸付ヲ爲シ得ル先ヲ限定致シテ居ルノデ

アリマス、勿論其ノ趣旨ハ成ルベク是等ノ

銀行ヲシテ確實ニ其ノ業務ノ運営ヲ圖ラセ

ヨウト云フ趣旨ガ存シマスルコトハ申上ゲ

ル迄モナイノデアリマス、然ル處最近御承

知ノ如ク經濟界ノ情勢ガ種々ノ狀況ニ依ッ

テ非常ニ急激ニ轉換致シマシテ、其ノ結果

ト致シマシテ、組合制度モ或ハ新設セラレ、

或ハ改廢セラレルコトガ頻繁ニ行ハレテ參ッ

タノデゴザイマス、又時局ノ要請ニ應ジマ

シテ特殊法人ノ如キモノモ新タニ設立セラ

ル、モノガ少クナイノデアリマス、而モソ

レ等ノモノノ中ニハ勸業銀行ナドノ致シマ

スル業務ト非常ニ密接ナル關係ヲ持ッテ居

リマスルモノガ甚ダ少クナイノデゴザイマ

ス、ソコデ今回ノ改正ニ於キマシテ、是等

ノ列擧主義ヲ廢メマシテ、大藏大臣ニ於

キマシテ必要ト認メマシタモノニ付キマ

シテハ、隨時其ノ無擔保貸付ヲ爲シ得ル組合、

又ハ特殊法人ノ如キモノヲ追加シテ、實際

ノ必要ニ、非常ニ伸縮性ニ富ンダ業務ノ執

行ガ出來ルヤウニ致サウト云フノガ其ノ改

正ノ骨子デゴザイマス、例ヲ舉ゲテ申上ゲ

マスルナラバ、例ヘバ特殊ノ法人ト致シマ

シテハ最近出來テ居リマスル住宅營團デア

リマスルトカ、農地開發營團ノ如キ現行法デ

ハ取引ガ出來マセヌモノヲ、今回ノ改正ニ

依リマスレバ、是等ノモノニ對シマシテ無抵

當ノ貸付ガ出來ル、而モ其ノ事業タルヤ、

勸業銀行等ト取引ヲサセマスルノニ、甚ダ

適當ナ對象デアル、斯様ナ關係ニナルノデ

ゴザイマス、又組合ノ如キモノ、例ヘバ貸家

組合ト申シマスルモノモ最近出來テ參ッテ

居リマス、其ノ外自動車運送事業組合デア

リマスルトカ、今回ノ改正ノ結果、是等ノ不

動産銀行ガ取引ヲ爲シ得ル組合モ、既ニ相當

出來テ居ル事情ニアリマス、左様ナモノニ

對シマシテ、金融ノ便宜、金融ノ疏通ヲ圖

リマスル爲ニ其ノ改正ヲ行フト云フ趣旨デ

ゴザイマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 米山委員

正デアルガ、唯之ニ對シテ私ノ持ッテ居ル

タツタ一ツノ疑義ハ、農行銀行ノ六條ノ二

號ニハ、「二十箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲

スコトヲ得」トナッテ居リマス、是ハ併シ抵

當ヲ取ツタ貸付ノ場合デアアル、併シナガラ今

度此ノ無抵當ノ方モ「第一號又ハ第二號ノ

貸付ヲ爲スコトヲ得」トアルノデスカラ、無

抵當ノ場合モ矢張り二十箇年ト云フ期限ヲ

御許ニナルノデスカ、而シテモウ一ツ、ソ

レハ農工銀行法ノ中ニ見エテ居ルノデス

ガ、ソレハ同ジ關係ニ於ケル勸業銀行並ニ

北海道拓殖銀行ノ、其ノ點ハドウ云フコト

ニナッテ居リマスカ

○政府委員(山際正道君) 只今申上ゲマシ

タ無擔保貸付ヲ行ヒ得ル先ノ範圍ヲ擴張致

シマスル條文ハ農工銀行法デハ第七條ノ五

ト云フノヲ御覽戴キタイト思ヒマス、之ニ依

リマシテ農工銀行ガ只今申上ゲマシタヤウ

ナ資金ノ融通ヲ行ヒ得ルコトニナルノデア

リマスガ、其ノ貸出ヲ致シマスル場合ニ於

ケル年限ノ制限ニ付キマシテハ、只今御指

摘ノ如ク第六條ニ依リマシテ、定期貸付デ

アリマスルト、原則ハ五年以内デゴザイマ

シテ、例外トシテ二十年以内、新様ナ解釋

ニ致シテ居リマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 小倉委員

○小倉正恒君 其ノ勸銀ト興銀トハドウ云

フ關係ニナルノデセウカ、矢張り兩方共同

様ト云フコトニナリマシテモ、自ラ融資ノ

分野ガ出來ルノデゴザイマセウカ、何カ其

ノ兩方同ジヤウナコトヲヤツテモ面白クナ

イト思ヒマスガ、ソコハ何方内規カ何カデ

決ッテ居ルノデスカ

○政府委員(山際正道君) 今回ノ改正ニ依

リマシテ、勸業銀行ガ相當所謂時局産業方

面ニ其ノ活動ヲ致シテ參リマスルコトハ御

指摘ノ通りデアリマス、從來ノ觀念ニ於キ

マスルト所謂事業金融ノ中心機關ハ興銀ト

云フコトニナッテ居リマス、其ノ間ニ御

尋ノ如キ問題ガ考ヘラレルト思ヒマス、其

ノ點ニ付キマシテハ、格別此ノ規定ノ上ニ

於キマシテ兩銀行ノ業務ノ範圍ヲドウ決メ

ルカト云フ明文ハ掲ゲテゴザイマセヌケレ

ドモ、此ノ銀行ノ根本ノ成立ナリ、從來ノ

仕事ヲヤツテ參リマシタ經歷ナリカラ致シ

マシテ、自ラソコニ當局ノ指導致シマスル

方針ト云フモノハ定メテアルノデゴザイマ

ス、即チ今後ト雖モ所謂時局産業事業金融

ノ中心機關ト致シマシテハ、興業銀行ヲ充テ

ル考デアリマスルケレドモ、御承知ノ如ク

最近生産力擴充等ニ對シマシテ、資金ノ需要

ハ非常ニ巨額ニ相成ッテ居ルノデゴザイマ

ス、一面ニ於キマシテ勸業銀行等ノ方面ニ

於キマシテハ、比較的此ノ不動産銀行業務

ノ方ノ資金需要ガ多クゴザイマセヌ爲ニ、

或ハ其ノ資金ノ供給力ニ於キマシテ、或ハ

又其ノ銀行ノ持ッテ居リマスル人的物的ノ

諸能力ニ於キマシテ、何ト申シマスルカ、

相當ノ餘裕ガ認めラレテ來テ居ルノデゴザ

イマス、從ヒマシテ今回ノ案ニ於キマシテ

ハ、ソレ等ノ一面ニ於テ生ジツ、アル餘力

ヲ擧ゲテ、他方ニ於テ足ラザル所ノ時局金

融ヲ補助的ニ當ラシメヨウト云フノガ今回

ノ狙ヒデゴザイマス、從ヒマシテ具體的ニ

申上ゲマスルト中央市場ニ於テ或ハ社債ヲ

募集スルトカ、或ハ「シンデケート」ヲ結成

シテ、非常ニ多額ノ資金ヲ供給スルト云ツタ

ヤウナ事業、ソレ等ノモノハ矢張り從前通

リ自然興業銀行ノ扱フ所デアラウト思ヒマ

スルケレドモ、御承知ノ如ク勸業銀行等ハ

全國ニ非常ニ澤山ノ支店網ヲ持ッテ居リマ

ス、從ヒマシテ各地方ニ於キマシテ、漸次

勃興致シテ居リマスル各種ノ中小工業、小

サイ工業モ次第ニ昨今ハ大キクナッテ參ル

モノガ出テ參ッテ居リマスルガ、ソレ等ノ地

方的ナル比較的規模ノ大キクナイ方面ニ於

キマシテハ、是等ノ銀行ガ進出スル、又是

等ノ銀行ヲシテ當ラシメルノガ妥當ダト思

ハレル分野ガ相當多イト思フノデゴザイマ

ス、デ其ノ間ハ言葉デ申シマスルト、或ハ

大工業ト謂ヒ、或ハ中小工業ト謂ヒ、觀念

トシテハ岐レテ居ルヤウデアリマスルガ、實

際ノ運用ニ當リマシテハ、御懸念ノ如ク其

ノ間ニ判斷ニ迷フ場合モ出テ來ルカト思ヒマス、ソコハ常時當局ト致シマシテ注意ヲ致シマスルト共ニ、又兩銀行間ニモ隔テノナイ連絡ヲ執ラセマシテ、是等ノ機關ガ新シイ分野ニ參リマスカタト申シマシテ、既設ノモノトノ間ニ要ラザル摩擦ナリ、無用ノ競争ヲ惹起スルト云フコトノアリマセヌヤウニ、十分注意シテヤラウト思ヒマス、現在ノ所デハ左様ニ考ヘテ居リマス

○小倉正恒君 只今勸銀ト興銀ノ關係ニ付キマシテハ、詳細ノ御説明デラ承致シマシタ、次ニ私平素カラ考ヘテ居ルノデスガ、勸銀ノ規則ナリ、興業銀行、拓殖銀行ノ規則ヲ改正シマシテモ、其ノ扱ッテ居ル人ノ頭ガ矢張り舊態依然タルモノ、デアルト云フト、此ノ法律ノ效果ガ薄イノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ思ハレマス、ト申シマスノハ假ニ評價ヲ從來ハ三分ノ二位デアッタノラ今度ハ全額ニスル、斯ウシマシテモ、根本ノ評價ヲ非常ニ嚴密ナコトニシマス、ドウシテモ取扱フ者ガ此ノ新時代ニ目醒メテ、サウシテサウ云フ風ノ生産力擴充、其ノ他ニ付テ融資ヲスルト云フコトヲハッキリ認識ヲセスト云フト、折角此ノ法律ヲ作ラシテモ、ドウモ餘リ適用ガ少イ、又從來ノヤウニ、アンナニ手續ガ煩雜デハ假ニ融資スルト云ツテモ、モウ嫌氣ガ差サウナコトモアルト思ヒマス、殊ニ地方等ニ於キマシテハ隨分煩雜デアリマスカラ、サウ云フ點ハ如何ニナルカト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 御答へ申上ゲマス、只今小倉君ノ御話ノ通り、色々規則ヲ改正致シマシテモ、ソレヲ此ノ實際ノ運用ノ衝ニ當リマスル者ノ心構ヘガ改正サレマセヌ限リハ折角法令ヲ改正致シマシテ

モ、所期ノ效果ヲ擧ゲルコトガ出來ナイノデアリマシテ、全ク其ノ點ハ御話ノ通りデアルト思フノデアリマス、此ノ時局ノ進展ニ伴ヒマシテ産業ニ對スル金融ノ立場ト云フモノガナカク、從來ノ全ク通りデモ行カナイ點ガアルノデアリマシテ、産業ニ對スル深キ理解、又時局ニ對スル理解モ必要ト相成ッテ來テ居ルノデアリマス、ソレデ御話ノ中ニアリマシタヤウニ、鑑定價格等ノ點ニ付キマシテモ、折角改正致シマシテモ、矢張り元ノ考ヘ方ガ變リマセヌ限リハ、折角改正シタモノガ元々通りト同ジコトニ相成ルト云フコトニナリマスルコトハ、全ク其ノ通りデアリマス、我々ト致シマシテハ、直接其ノ事ニ從事シテ居ル方々ニ對シテ、直接ニ指導ヲスルト云フコトモ容易デハナイノデアリマスルガ、幸ニシテソレノ銀行ヲシテ主宰シテ居ラレル方々ノ時局ニ對スル認識ニ呼ビ掛ケマシテ、サウシテ規則ヲ改正シタコトノ精神ニ能ク職員ガ則ッテ仕事ニ當リマスルヤウニ、其ノ首腦者ヲ通ジマシテ、十分指導連絡致シテ行キタイト、左様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○米山梅吉君 モウ一度伺ヒタイ、此ノ三ツノ特殊銀行ニ對スル從來ノ觀念カラハ、餘程此ノ案ハ自由ニナッテ來タ、是ハ時勢ノ變遷ト、殊ニ時局ト云フコトノ爲ニ關係シ、必要ニムラ得ナイト思ヒマスガ、今私調べテ見テ、農工銀行ノ場合ハ二十年、其ノ他ハドウデスカ、チヨット御伺ヒシタイ、北海道拓殖、農工銀行ノ此ノ點ノ關係ハドウナリマスカ、矢張り二十年位デスカ

○政府委員(山際正道君) 只今御尋ノ點ハ勸業銀行、農工銀行トモ區別ハゴザイマセヌ、矢張り同年限ノ扱ヒニナッテ居リマ

スガ、尙北海道拓殖銀行ニ付キマシテモ、此ノ年賦償還デ貸シマスルヤウな場合ハ、矢張り農工銀行、勸業銀行ト同年限ノ扱ヒニナッテ居リマス、尙御尋ネノ點ガマダチヨット十分承レナカッタ點ガゴザイマスガ……

○米山梅吉君 今ノ北海道拓殖銀行ノ改正法案ノ中ニハ、其ノ點ハ何モ見エナイモノデスカラ、ソレデ北海道拓殖銀行法ノ現在ノ、現行法ノ中ニ矢張り農工銀行ト同ジヤウナ條文ガアッテ、サウシテ二十年ト云フモノガ效力ヲ生ズルノデスカ

○政府委員(山際正道君) 其ノ點ハ只今御述ノ通りデアリマシテ、北海道拓殖銀行法中ニ農工銀行、勸業銀行ニ於ケルト同様ノ規定ガゴザイマシテ、ソレニ依ッテ動クト云フコトニナッテ居リマス

ノ三十二條ノ三デ特ニ「他ノ法人ノ爲ニ金錢ノ出納」、「金錢ノ出納」ト云ヘバ當座預金……ソレニ附加ヘテ「有價證券ノ受拂保管ノ取扱ヲ爲スコトヲ得」ト、ソレハドウ云フ御必要デゴザイマスカ、チヨット御伺ヒシマス

○政府委員(山際正道君) 三十二條ノ三ヲ改正シマスル理由ハ、此ノ現行法ニ於キマシテハ、例ヘバ日本銀行ノ爲ニ勸業銀行ガ勸業債券貯蓄債券ナドノ證券ヲ保管スルコトガ出來ルト云フコトガ認メラレテ居ルノデアリマス、ソレガ現行法ノ三十二條ノ三デゴザイマス、又農工銀行ニ於キマシテハ勸業銀行又ハ他ノ農工銀行ノ業務ヲ代理スルコトガ出來ルト云フコトガ定メラレテアルノデゴザイマス、今回ソレヲ、例ヘバ勸業銀行ニ付キマシテ三十二條ノ三ノ改正法ノ如ク致スト云フ理由ハ、ソレ等ノ仕事ニ加ヘマシテ、例ヘバ是等ノ銀行ノ仕事ト密接ナ關係ヲ持ッテ居ル所ノ方、例ヘバ住宅營團デゴザイマス、農地開發營團デゴザイマス、ソレ等ノモノノ發行スル債券ノ元利拂ト云フ仕事モサセタイト云フ趣旨カラ「金錢ノ出納」ト云フ文字ヲ加ヘマシテ、此ノ改正案ヲ書キマシタ次第デゴザイマシテ、預金ノ如キハ御話ノ如ク他ノ條文ニ讓リマシテ、茲ニ金錢ノ出納トアリマスノハ、主トシテ債券ノ元利拂ノコトヲ示シテ居ルモノデゴザイマス

○米山梅吉君 能ク解リマシタ

○委員長(公野西郷吉之助君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌデスカ

○子爵高橋是賢君 北海道拓殖銀行法ノ改正ノ中ニ、第八條ノ末項ノ方ニアリマス「五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ又ハ

十箇年以内ニテ割賦償還ノ方法ニ依リ無
抵當貸付ヲ爲スコトヲ得「ト云フコトガアル
ノデスガ、先程ノ二十年ト云フノハ何處ニ
規定シテゴザイマスカ

○政府委員(山際正道君) 先程定期償還貸
付ハ、原則ハ五年デ例外ガ二十年ト云フコ
トヲ申上ゲマシタノハ、拓殖銀行法第七條ノ
第二號デゴザイマス、只今御示ノゴザイマシ
タ條文ハ、農業者ナドガ個人デ五人以上連
帶ヲ致シマシテ借リル場合ノ無擔保貸付セ
ル年限ヲ掲ゲタモノデゴザイマシテ、今問
題ニナツテ居リマス、ハ第七條ノ第二號ノ方
デ參リマス關係ニナリマス

○子爵高橋是賢君 其ノ理由ハドウ云フ譯
ナンデスカ
○政府委員(山際正道君) 御示ノゴザイマ
シタ第八條ノ通常五人連帶ト申シテ居リマ
スルガ、五人連帶デ借用ヲ申出マシタ場合
ハ、何ト申シマスルカ、普通ノ債務者ト致
シマシテハ、物の信用ノゴザイマセヌ關係
ニ於キマシテ、一般ノ取引先ヨリハ年限ガ
短クシテアルノデゴザイマス、デ今度特殊
ノ組合ナリ法人ナリニ付キマシテ無擔保貸
付致シマスル場合ニ、五人連帶ノ場合ヨリ
モ長クナリマスル關係ハ、ソレ等ノ特殊法
人ナリ組合等ニ於キマシテハ政府ノ嚴重ナ
監督ニ服シテ居ル關係モゴザイマスノデ、
此ノ五人連帶ノ場合ヨリハ長ク取扱ヒマシ
テモ支障ハナカラウカト、左様ナ趣旨デス
ウ云フ案ニナツテ居リマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 他ニ御質問
ハゴザイマセスカ、デハ皆サニ御諮リ致
シマスガ、是デ他ニ御質疑ガゴザイマセスケ
レバ、北支那開發株式會社外四件ニ對シマ
シテ、一括全部質疑ハ打切りタイト存ジマ

スガ、御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 御異議ナイ
ト認メマス、ソレデハ是カラ討論ニ移リマ
ス、チヨット速記ヲ止メテ……
〔速記中止〕

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 速記ヲ始メ
テ……先程北支那開發株式會社法中改正法
律案外四件ヲ一括シテ討論ト申上ゲマシタ
ガ、問題ノ性質上、北支那開發株式會社法中
改正法律案、中支那振興株式會社法中改正
法律案、此ノ二案ト、日本勸業銀行法中改正
法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道
拓殖銀行法中改正法律案、此ノ三案ノ討論
ヲ別個ニ致シマスカラ、其ノ點チヨット御訂
正申上ゲマス

○橋本辰二郎君 私ハ北支那開發株式會社
法中改正法律案、中支那振興株式會社法中
改正法律案、此ノ二案共贊成ヲ致シマス、
唯少シク希望ヲ致シタキ點モアリマスルガ、
興亞院ノ御方ハ御出席ナイサウデアリマシ
テ、的ナキニ矢ヲ放ッテモ如何カト思ヒマシ
テ、無條件デ贊成ヲ致シテ置キマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 別ニ御發言
モゴザイマセスケレバ、只今ノ北支那開發
株式會社法中改正法律案並ニ中支那振興株
式會社法中改正法律案、以上二案ニ對スル
討論ハ終結シタモノト認メマス、次ニ先程
申上ゲマシタ日本勸業銀行法中改正法律案
並ニ農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖
銀行法中改正法律案、以上三案ニ對スル討
論ニ移リマス

○米山梅吉君 日本勸業銀行法中改正法律
案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖
銀行法中改正法律案、此ノ三案共時勢ノ變

化、況シテ時局下産業ノ擴充ト云フコトヲ
最モ必要トシテ居ル時ニ於キマシテ、誠ニ
至當ナ御改正デアルト思ッテ居リマス、而モ
總テガ極メテ明瞭ナ案デアリマス、何等異
議ナク私ハ贊成ヲ致シマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 他ニ御發言
ゴザイマセスケレバ討論ハ終結シタモノト
認メマス、ソレデハ是カラ採決ニ移リマス、
原案五案全部ヲ問題ニ供シマス、原案全部
御異議ハゴザイマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 御異議ナイ
モノト認メマス、之ヲ以テ議題ト致シマシ
タ五法案ハ全部可決致シマシタ、是ニテ散
會致シマス
午後三時四十八分散會
出席者左ノ如シ

委員長 侯爵西郷吉之助君
副委員長 子爵高橋 是賢君
委員 子爵綾小路 護君
小倉 正恒君
男爵水谷川忠鷹君
赤池 濃君
米山 梅吉君
橋本辰二郎君
吉村友之進君

政府委員

興亞院部長 及川 源七君
同 松村 恭君
興亞院書記官 久保 文藏君
大藏次官 谷口 恒二君
大藏省銀行局長 山際 正道君

昭和十七年一月二十三日印刷

昭和十七年一月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局